

法シタルモ即座ニ拒絶サレシ不調ニ終レリ
八陸 過

一 従業員側

従業員側ハ本月九日前記要求シ拒絶サレ工場内ニ於
テ物販一紙果午前十一時頃一斉ニ退場罷業シタルカ
工場主ニ於テ諫告セサル以上當日之ヲ無返ニ日給ヲ
要求メント計畫シツ、マリ

二 事業主側

事業主側ハ本月十日ハ臨時休業シ場合ニヨリラハ工
場閉鎖ヲ以テ臨ミ飽シ迄隔日勤務ヲ實施シ目下ノ窮
状ヲ打開セント強硬ノ態度ヲ持シツ、マリ
右及中(通)亦信也

5. 9. 25
1720

労務第三三〇三號

昭和五年九月二十五日

善視總監九山鶴吉

内務大臣安達謙藏殿
社會局長官殿
埼玉縣知事殿

白瀬伸銅所ノ労働爭議ニ関スル件

要旨 事業主ハ本月十五日全自解雇ノ通告ヲ發シ職工側ハ之ニ反対シテ強固
先リ交渉ニ引續キ交渉中ニ九カ手場ノ問題ニテ懸断甚クモ未ダ
解決ニ至ラズ

標記労働爭議ハ其後特ニ不睦ノ行動ナリ交渉續行中ナ